

① 表紙

文書番号

FQ3GI-5007 ver.1

作成日

2018年5月30日

施工要領書

品名:MMシート

- ① 表紙
- ② 改訂履歴書
- ③ 目次
- ④ 施工要領書

フジモリ産業株式会社

② 改定履歴書

文書番号

FQ3GI-5007 ver.1

作成日

2018年5月30日

| 改定番号 | 年月日 | 作成 | 受領 | 改定理由 |
|------|-----|----|----|------|
| | | | | |

③ 目次

文書番号

FQ3GI-5007 ver.1

作成日

2018年5月30日

| 一連番号 | 項目 | 項番号 |
|------|-------|-----|
| ① | 表紙 | |
| ② | 改訂履歴書 | |
| ③ | 目次 | |
| ④ | 施工要領書 | |

④ 施工要領書

文書番号

FQ3GI-5007 ver.1

作成日

2018年5月30日

1. 総則

1-1. 適用範囲および目的

本施工要領書は法覆護岸工等におけるMMシートの設置施工に適用し、施工仕様が関係者によく徹底され、工事が適切かつ円滑に推進されることを目的とする。

1-2. 協議

本施工要領書に記載がない事項、および変更などが生じた場合は、その都度監督官と協議のうえ、承諾を得て施工する。

2. 使用材料

2-1. 使用材料一覧

主要材料

| 名称 | 材質・規格 | 材料幅(mm) | 有効幅(mm) | 長さ(m) | 用途 |
|-------|---|---------|---------|-------|-------|
| MMシート | 積層一体品 シボ付き止水シート(EVA) +補強布付繊維性フェルト | 2150 | 2000 | 指定 | 遮水シート |

副材料

| 名称 | 材質・規格 | 厚み(mm) | 材料幅(mm) | 長さ(m) | 用途 |
|-------------|------------------|--------|---------|-----------------|------|
| 補助シート | 止水シート(EVA) | 1 | 300 | 20 | 端部処理 |
| 名称 | 材質・規格 | 荷姿 | | 用途 | |
| 接着剤(GS707) | スチレンブタジエンゴム | 14kg/缶 | | 補助シート/コンクリートの接着 | |
| プライマー(G710) | スチレンブタジエンゴム・合成樹脂 | 14kg/缶 | | 補助シート/コンクリートの接着 | |
| 粘着テープ | ブチルゴム粘着テープ | 15m巻 | | 補助シート/コンクリートの接着 | |

※補助シート/コンクリートの接着は接着剤とプライマーの組み合わせまたは粘着テープで行う

その他資機材

| 名称 | 材質・規格 | 用途 |
|------------|----------|-----------------|
| ローラー刷毛 | 幅5~10cm | 接着剤塗布 |
| ハンドローラー | ゴム製 | 補助シート接着時の圧着 |
| ポリバケツ | - | 接着剤小分け、刷毛洗浄 |
| ウエス、ワイヤブラシ | - | 清掃 |
| 裁ちバサミ | - | MMシートおよび補助シート裁断 |
| 土嚢 | - | 重し |
| 足場 | 足場板、ハシゴ等 | シート布設後の歩行 |

2-2. MMシートの概要

MMシートは、エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)を用いた菱形突起(シボ)付きの止水シートと補強布付繊維性フェルトを用いた被覆マットを積層一体化させた法覆護岸用の遮水シートであり、国土交通省の品質規格に合格した材料になります。

【特長】

- ・ 止水シートは、エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)を用いているため、強度特性や耐久性、耐薬品性に優れています。
- ・ 止水シートは、表面に菱形突起(シボ)を有しており、接地面とのすべり抵抗に優れています。
- ・ 止水シートは、エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)を用いており、焼却時にダイオキシンを発生させず、環境ホルモンの疑いのある物質を含まないため、環境や生態系に配慮しています。
- ・ 被覆マットは、補強布付き合成繊維を用いており、強度特性や弾性吸収力(クッション性)に優れており、高い緩衝機能と良好な接地面とのなじみを実現しています。
- ・ 止水シートと被覆マットは工場 で積層一体化させ、指定長に合わせた裁断加工をおこなうため、現場での作業工程が大幅に低減します。
- ・ 止水シートと被覆マットは、共に柔軟性に優れており、良好な施工性を実現しています。

④ 施工要領書

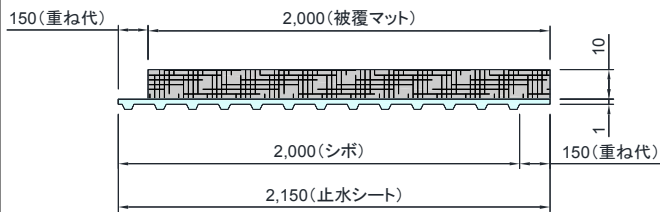
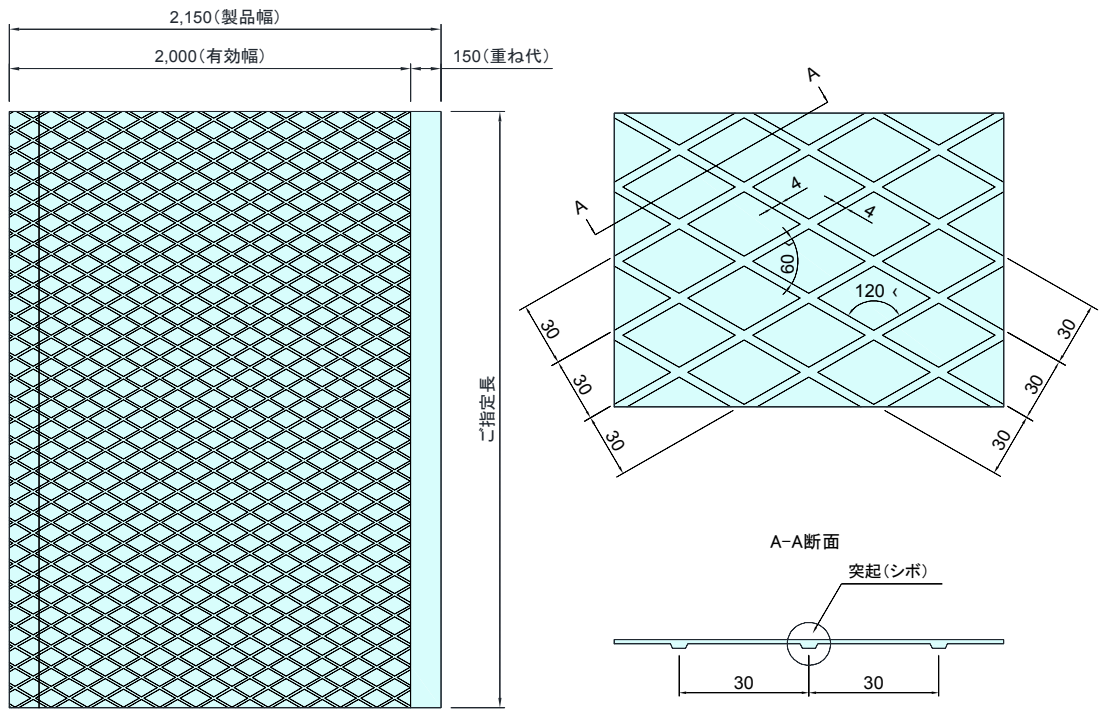
文書番号

FQ3GI-5007 ver.1

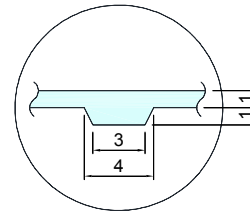
作成日

2018年5月30日

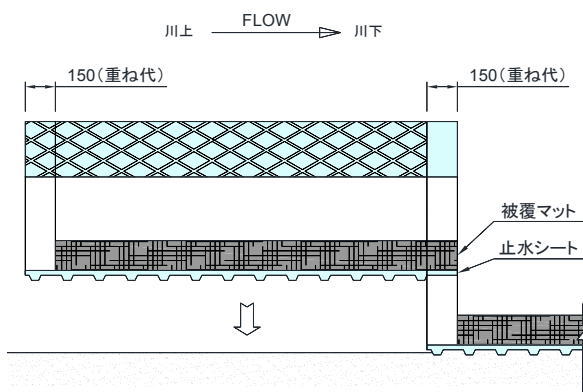
【概要図】



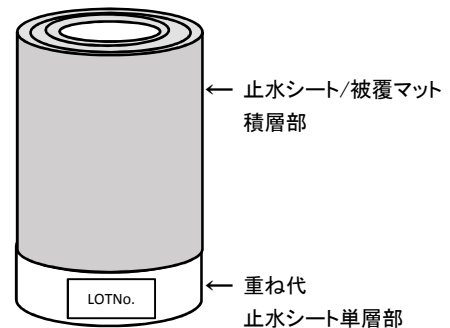
シボ詳細



製品図



施工図



荷姿図

④ 施工要領書

文書番号

FQ3GI-5007 ver.1

作成日

2018年5月30日

3. 施工手順

STEP1 端部処理(基礎または帯コンクリート等の構造物と接続用補助シートの接着)

- ・位置出し(コンクリートの接着面)
- ・下地清掃(コンクリート接着面)
- ・プライマー処理(コンクリートの接着面)
- ・接着剤塗布および貼り合せ(補助シートとコンクリートの接着面)

STEP2 MMシートの敷設

- ・小運搬
- ・敷設
- ・仮固定

3-1.端部処理(基礎または帯コンクリート等の構造物と接続用補助シートの接着)

①位置出し

コンクリート表面に補助シートを接着する位置(GL+10cm)の墨出しを行なう。

②下地清掃

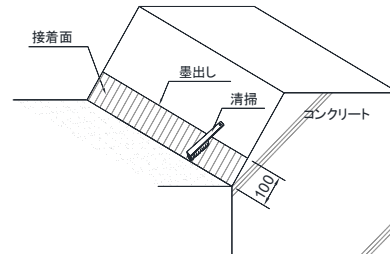
ウエスやワイヤブラシを用いて補助シート接着面となるコンクリート表面の汚れを取り除く。

③プライマー処理

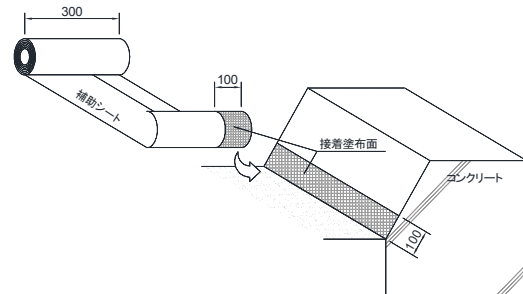
ポリバケツと刷毛を用いてコンクリート表面にプライマーを塗布し、約30分程度乾かす。

④接着剤塗布および貼り合わせ

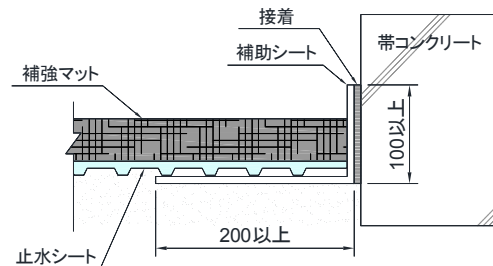
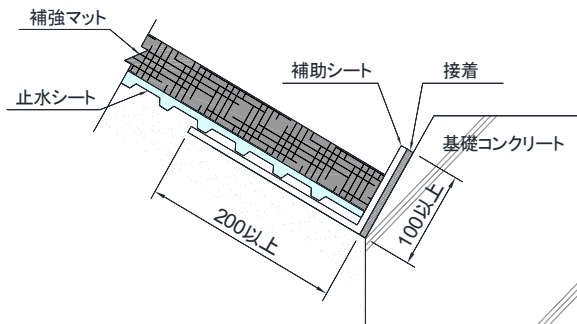
ポリバケツと刷毛を用いてコンクリート表面と補助シートの接着面に接着剤を塗布する。接着剤塗布後、半湯きになったら貼り合わせてハンドローラー等を用いて圧着する。



位置出しおよび下地清掃



プライマー処理および接着材塗布による貼り合せ



- ※ 基礎または帯コンクリートと接続用の補助シートの接着幅は10cm以上確保する。
- ※ 補助シートとMMシートの重ね幅は20cm以上確保する。

端部処理詳細図

④ 施工要領書

文書番号

FQ3GI-5007 ver.1

作成日

2018年5月30日

3-2.MMシートの敷設

①小運搬

MMシートを所定位置に運搬し並べておく。

②敷設

MMシートは河川水の流向に対して下流から順次上流に向かって敷設する。そのため、止水シートが地盤側(裏側)で、ラップ部が上流側になっているか確認しながら敷設を開始し、天端より法尻にかけてロールを転がすように展開する。

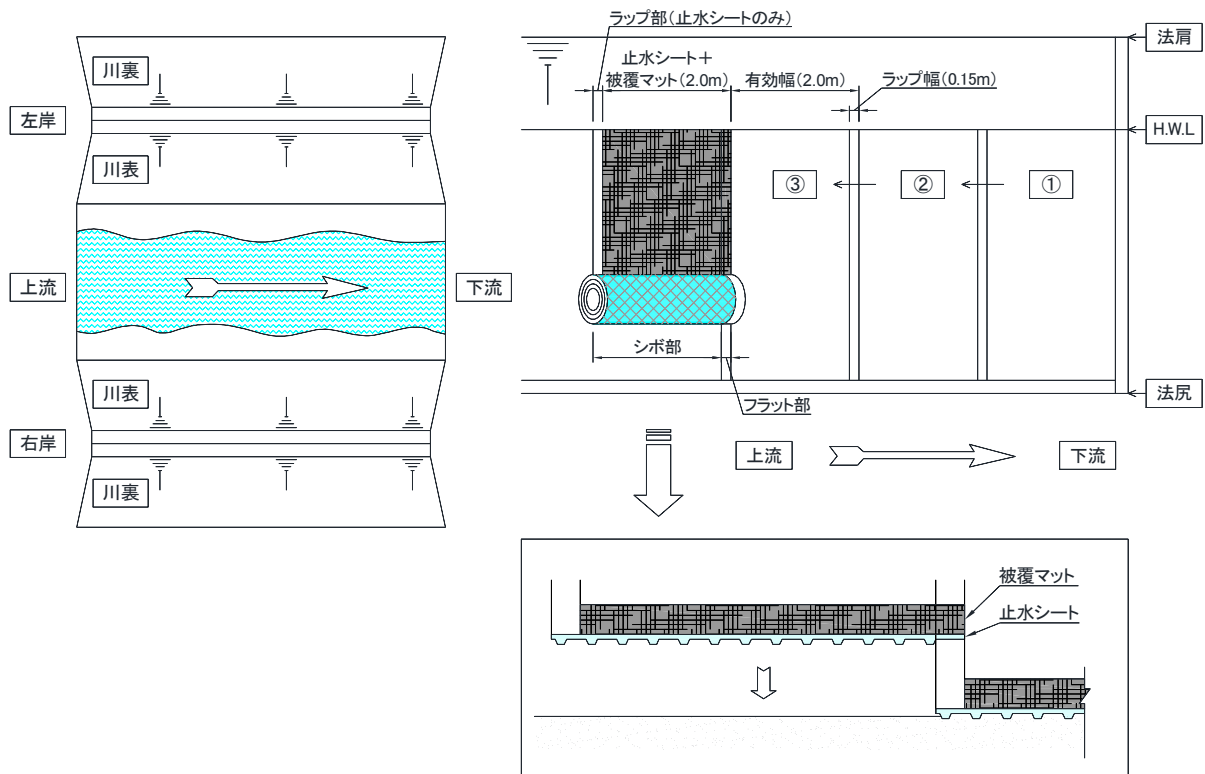
※ MMシートの敷設は、堤防横断方向に敷設することを原則とする。現場条件によって、やむを得ず堤防縦断方向に敷設する場合は、Lピンや土のうなどによってシートの仮止めを行う。

※ 隣り合うMMシートの重ね幅は、15cm以上とすることを原則とする。ただし、特殊な場合には(法面が一樣ではない、縦断方向に敷設するなど)重ね幅をさらに大きくとる必要がある(縦断方向に敷設する場合、30cm程度とする例が多い)。

※ MMシートはラップ部が上流側になるように右岸用、左岸用で巻方向が逆になるので注意すること。

③仮固定

MMシートがずり落ちることを防ぐため、土のうやブロック等を被覆マットの上に載せて固定する。また、天端に木杭または鉄筋を打込み、バンセン等で吊り下げる方法もある。



MMシートの敷設展開図